

福井市デジタル田園都市構想総合戦略（素案）に関する 福井市パブリック・コメント募集の結果

【概要】

国では、コロナ禍を契機としたデジタル技術の進展を鑑み、デジタルを活用した地域課題の解決による「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目指し、令和4年12月に現行の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を改訂して、新たに「デジタル田園都市国家構想総合戦略（令和5年度～9年度）」を策定しました。

本市では、国の総合戦略に合わせて、福井市総合計画等との整合性を図りながら、今後5年間の人口減少対策の目標や施策パッケージを定めた計画として福井市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しており、現在は、令和2年度から令和6年度までを計画期間とした第2期総合戦略に基づき、人口減少対策の取組を進めています。

この度、国の新たな総合戦略の策定に合わせ、「福井市デジタル田園都市構想総合戦略（素案）」を作成し、パブリック・コメントを募集したところ、市民の皆様から以下の御意見をいただきましたので、それに対する市としての考え方を示し、公表します。

【意見募集結果】

実施時期	令和5年11月6日から12月6日まで	
意見提出状況	提出者	3人
	意見数	5件
意見提出方法	書面の持参	0人
	郵便	0人
	ファクシミリ	0人
	電子メール	1人
	その他	2人

【提出された意見及び意見に対する市の考え方】

基本目標 2 福井と関わり、繋がることで新たなひとの循環が生まれるまちづくり
について（2件）

	提出された意見	意見に対する市の考え方
1	移住促進の為市街化調整区域の宅地に地域外にお住まいの方や移住者が住む事が出来る様に制限を緩和する事が必要かと考えます。	本市では、「福井市開発審査会附議基準」により、市街化調整区域に立地可能な建築物の用途を定めております。 市街化調整区域内の宅地への第三者の居住については、既に基準（附議基準9、24など）を設けており、これらに基づき許可を得ることで地域外からの移住が可能です。
2	「歴史や自然を活かした、楽しさあふれるまちなかの魅力向上」について、「恐竜増殖プロジェクト」は一旦落ち着くべきと考える。県が恐竜に金を使うのはわかるが、市が「恐竜増殖プロジェクト」に金をつぎ込むのはおかしいのではないか。市が出した恐竜関係の支出がどうやって福井市に還元されるのか。元が取れるのか。モニュメントを見られるだけでは収益は得られない。「恐竜増殖プロジェクト」の福井市としての立場を今一度考えるべきである。	「恐竜増殖プロジェクト」は、福井商工会議所・県・市が連携して策定した、「県都グランドデザイン」に位置づけているプロジェクトの1つであり、北陸新幹線福井開業に合わせ、県と市が連携し、福井駅周辺に恐竜コンテンツを用いた仕掛けを整備することとしています。これにより、来街者に「恐竜王国ふくい」を強く印象づけ、観光誘客につながることで、まちなかの回遊性の向上を図り、にぎわいの創出や消費拡大につながるものと考えています。 また、行政による恐竜整備をきっかけとして、ホテルやバス、電車はもとより、商店においても恐竜コンテンツを活用した商品、サービス展開が行われるなど、民間企業による活用も広がっており、県都の玄関口に全国・世界へアピールできる観光コンテンツを集中させることで、開業効果の最大化を図りたいと考えています。

基本目標 3 結婚・出産・子育てに希望がもてる全国トップクラスの環境づくり
について（1件）

	提出された意見	意見に対する市の考え方
1	「あらゆる分野における女性の参画拡大」について、福井市に限った話ではないが、逆に「女性だから」という理由で女性の割合を上げるために半ば無理やり役員や上位クラスにさせられる事案が増えている。加えて、中身を見ずに女性だからという理由で役員にすると、「男性だから役員になった悪習」の二の舞になる。「性別は関係なく、男女割合も関係なく、ただ純粋に有能な人材だから出世できる」世の中になるべきである。本来であれば「女性進出」とはそういう意味のはずだ。	福井市では、性別に関わりなく、誰もが個性と能力を発揮出来る社会の実現に向け様々な取組を行っております。 その中で女性が働きやすく活躍出来る環境整備を進めるため、「働く女性」や「企業」向けに取組を実施しています。 「働く女性」向けには、異業種交流会を開催し、働く上での不安の解消やキャリアアップへの意欲・能力向上に取り組んでいます。 「企業」向けには柔軟な働き方への主体的な取組促進や意識改革、職場環境改善に向けた取組を行っています。 引き続き、男女があらゆる分野にともに参画し、真に誰もがいきいきと活躍出来るよう、取組を行ってまいります。

基本目標 4 時代に合った、全国に誇れる、住みごこち満点のまちづくり
について (1件)

	提出された意見	意見に対する市の考え方
1	<p>この内容は「住環境」について何一つ書かれていない。「住み心地」とは外出、観光、食、交流、アクセス、防災、外見などの前に「住んでいる家」、つまり「住環境」をまず考えるべきである。</p> <p>いかに住み心地が良く、穏やかな土地に住めるかが問題。現在都市開発によってその「住環境」を壊されている地域が多いのではないか。これは「公害」ともいえる。それに対する補償はあったか。「ご理解ください」で済ませていないか。今の福井は「人をよぶ」ことに躍起になっている。「今いる人」の住環境へは目を向けているか。</p>	<p>本戦略は、本市の最上位計画である「第八次福井市総合計画」に基づき、人口減少対策に特化した計画として位置付けているものです。</p> <p>毎年多くの市民、特に若年層が東京をはじめとする大都市圏を中心に進学や就業で県外へ転出している現状を考えると、転出者の抑制だけではなく、転入者を増加させていく取組も重要と考えています。</p> <p>転入者を増やすため、観光による交流人口や地域活性化を目的とした関係人口の創出・拡大の取組や、本市での就業や移住時の経済的支援などの取組が重要です。併せて、本市が住みやすいまちであることも必要であるため、公共交通の充実や災害に強いまちづくりによる生活環境の向上、まちなかのぎわいづくりやスポーツ等による健康増進、地域共生社会の推進といった市民参加のまちづくりに取り組むことで、住みごこちがよいまちづくりを目指してまいります。</p>

その他

	提出された意見	意見に対する市の考え方
1	<p>広報 F U K U I のデジタル化についての提案</p> <p>(1)紙面の完全横書き化 (2)TV のデータ放送活用 (3)ケーブル TV 、ネット TV の活用拡大</p> <p>※(1)～(3)の詳細については、内容量の都合上、割愛させていただきます。</p>	<p>具体的かつ建設的なご意見・ご提案をいただきありがとうございます。</p> <p>広報ふくいについては、現在、紙面への二次元コードの掲載やカタログポケットでの配信などデジタル化を進めてきたところです。しかしながら、ご指摘のとおり、利用者の皆様に使いやすさの面で十分に満足いただくには更なる改善が必要であると認識しております。</p> <p>いただいたご意見も参考に、利用者目線に立った情報発信となるよう、広報のデジタル化を進めてまいります。</p>